

板東俘虜収容所でのドイツ捕虜達

大正六年～大正九年

# 鉄条網の後での出会い



**m**  
MUSEUM  
LÜNEBURG

リューネブルク博物館  
2017年4月27日～7月23日

# 鉄条網の後での出会い

板東俘虜収容所でのドイツ捕虜達  
大正六年～大正九年

ベートーヴェンの第九の日本初演で有名となった、リューネブルクの姉妹都市である鳴門市にあった板東俘虜収容所。第一次世界大戦時には、およそ一千人ものドイツ兵がここに収容されました。自由な管理体制の下、多面的な文化生活が発展しました。徳島県とニーダーザクセン州の共同宣言調印十周年記念に際し、リューネブルク博物館は、今日ほとんど忘れさられてしまっている日独の歴史に焦点をあてます。

この展覧会では、ドイツ帝国主義拡大の時代を始点として、青島におけるドイツ兵捕虜達から、板東俘虜収容所での生活に至るまで、現在まで続いている「鉄条網の後での出会い」の軌跡を辿ります。



Stiftung  
Niedersachsen

会期 2017年4月27日～7月23日



Niedersachsen

リューネブルク博物館  
ヴィリー・ブラント・シュトラッセ 1  
21335 リューネブルク  
ドイツ

Sparkassenstiftung  
Lüneburg

Museumsstiftung  
Lüneburg



m |  
MUSEUM  
LÜNEBURG